

交通網の発達により、物流拠点として大きな役割を果たしてきた佐賀県。今後の発展が期待される産業に関連した施設の建設など、次世代に向けた取り組みも進んでいます。

交通の拠点としての佐賀県

陸路

■鳥栖ジャンクション

九州を東西と南北に結ぶ高速道路が交差する鳥栖市は、陸路輸送の重要な拠点です。これにより多くの企業や工場が進出し、佐賀県の経済発展に大きな役割を担ってきました。



(佐賀県新幹線・地域交通課 提供)



(PIXTA 提供)

■九州新幹線

2011年に九州新幹線は福岡県と鹿児島県を結ぶ全ルートが開通し、新鳥栖駅から鹿児島中央駅まで最速で1時間15分程度で行けるようになりました。

空路



(佐賀県空港課 提供)

■九州佐賀国際空港

国内線と国際線が運航され、国内外の人・モノ・情報の交流拠点となっています。また、旅客便では、新鮮な農作物や海産加工品など軽量の荷物が輸送されています。

海路



(佐賀県伊万里港振興会 提供)

■伊万里港

海の玄関口として韓国をはじめ、中国、東南アジア間で多くのコンテナを利用した輸出入が行われています。博多、北九州、志布志に次いで九州4位の国際コンテナ取扱量です。

期待される産業

■シリコンウェーハ

シリコンウェーハは、高純度の珪素(シリコン)から切り出された円形の薄い板(ウェーハ)で、パソコンなど電子機器に欠かせない半導体デバイスを作るための材料として、伊万里市内の企業で製造されています。また、江北町にもシリコンウェーハ関連の事業所があります。



(九州シンクロトロン光研究センター 提供)

■放射光(シンクロトロン光)

鳥栖市の九州シンクロトロン光研究センターは、高速で飛ぶ電子を磁石の力で曲げて得た光で半導体や電池、プラスチックなど、さまざまな材料の解析を行う施設で、企業や大学などの研究に役立てられています。

調べてみよう!

シンクロトロンとはどんな装置でどんなことができるのか、調べてみよう。

第7章 佐賀県の 食文化

